

## 1 はじめに

本校では毎年全校生徒一人一人が学校のスローガンを考え、それをもとに、生徒会で話し合っただけで決定している。今年度は、「伝守創新」というスローガンをたて活動してきた。このスローガンには、学校の伝統を守り受け継ぎながらも、既存の枠にとらわれず、新しい学校のかたちを創っていこうという思いが込められている。

また本校では「河中5つの誇り」という、一年を通して重点目標としているものがある。生徒一人一人が5つの目標を意識して生活することで、河中生としての誇りをもつことができるようにするものである。

### 河中5つの誇り

- ①誰とでも交わし合う明るいあいさつ
- ②時間を意識した学校生活
- ③きれいな学校・地域をつくる清掃活動
- ④心を通わせ美しく響く歌声
- ⑤目標に向かって仲間と励む部活動

## 2 資料

### (1) WE CLEAN

各家庭で出た空き缶や段ボールを、JRC 委員が中心に回収する。回収した資源はリサイクルし、生徒会活動や部活動の資金としている。WE CLEAN マッチを開催し、クラス別に回収率を競うことで参加する生徒が増え、ボランティアの精神を培っている。

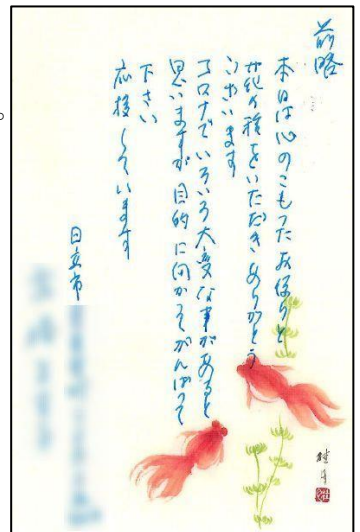
### (2) 総体や新人戦の壮行会

新人戦の壮行会では、3年生で応援団を結成し、後輩への熱い想いを込めた応援によって1, 2年生の士気が高まった。応援の流れは応援団長を中心に生徒が自分たちのアイデアを出し合っただけで考える。学校全体が一丸となって総体に挑もうとする心強い応援となった。



### (3) 一人暮らしの高齢者に花を贈る活動

地域の一人暮らしのお年寄りの家に訪問し、近況を報告したりねぎらいの言葉をかけたりして交流を深める事を目的としている。今年度は感染症の影響で訪問できなかったため、「健康」を意味するマリーゴールドの種子に手紙を添えて送付した。多くの方が感激され、お礼の手紙や電話をくださった。



### (4) 若竹祭(文化祭)

生徒全員が発表部、会場部、作品部、合唱部、式典部、広報部の6部門に分かれて活動する。事前の準備から当日の運営まで生徒主体で行う。例えば、会場部の活動として入場口のアーチや壁面の装飾など、意匠を凝らした会場作りが行われた。

### (5) 縦割り対抗レクリエーション

学年を越えて交流を深め、学校全体の団結力を高めたい、という思いから生徒会が企画した。部活動以外、普段は関わりの薄い他学年と体を動かすレクリエーションを通して関わり合い、生徒達の笑顔が溢れる活動になった。



## 3 成果と課題

生徒会役員が中心となって、各学年にいるリーダーにスポットライトを当て、生徒たち自らの手で企画・運営を行い、各行事を全力で楽しむ場を充実させることができた。今後も生徒の自主性を尊重した生徒会活動を行い、学校教育目標である自立・自律した姿を目指したい。